



# 学校だより

横浜市立六つ川台小学校

6月号

令和5年5月22日

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

E-mail: [ky-e-mutudai@city.yokohama.jp](mailto:ky-e-mutudai@city.yokohama.jp)



## あたら みに 新しく見えてくること

きょうむしゅにん いしもと まなみ  
教務主任 石本 真奈未

今年度、教務主任になりました石本真奈未と申します。六つ川台小学校に着任して2年目になります。教務主任という立場は、初めてになります。昨年度は、4年生の担任をしていました。野球大好きな息子が2人います。六つ川台小学校には、野球好きな子どもたちがたくさんいるので、共通の話題で盛り上げられるのは、とても嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。

私が今まで勤めていた学校は、全校児童が600人以上いました。当然のことながら、教職員の人数も多かったです。六つ川台小学校に異動が決まったときは、「学校ごとの仕事の量は変わらないのに、教職員の人数が少ないので大変そう」と感じていました。不安な思いが強かったことを覚えています。しかし、実際に勤務してみると、「小規模校のよさ」がたくさんあることに気がきました。1つ目は、「全校児童の名前が覚えられる」ことです。私自身、まだ全員は覚えられていませんが、全校児童の顔と名前が一致している職員が多数います。また、子どもたちは他学年の友達のことでもよく知っていて、ペア学年や運動会練習、廊下ですれ違った時などに互いに声を掛け合っているのを見かけます。子どもたち同士が顔見知りなので、安心して学校に通えているのではないかと感じます。

2つ目は、運動会にできる種目がたくさんあることです。前任校は、全校児童の人数が多かったので、徒競走と演技の2種目しか実施できませんでした。また、校庭の広さも関係して、全学年同時実施が難しかったです。前半の部、後半の部に分かれて行っていました。それと比べると、六つ川台小学校の運動会は、コロナ禍であっても全校児童の同時実施、3種目に参加できるというよさがあります。

3つ目は、体験学習などでの行動範囲が広がるということです。宿泊体験学習などに出掛けると、人数が多い学校では食事をするにも2～3回に分けて行うなどの制限があります。しかしながら、六つ川台小学校では1回でできることがあり、たくさんの活動に取り組みます。

これらのことは、実際に勤務して分かったことです。きっと、小規模校で働かなければ、ずっと知らずにいたことです。不安な思いをもっていました。今は、「こんなこともできるんだ。」という前向きな思いに変わりました。そして、その良さを、生かした教育活動を行っていきたいと思っています。私は、自分の知らないことや経験したことの無いことに挑戦することに対して、不安になることが多いのですが、こうした「新たな発見」をたくさんしていきたいと思っています。